

数学「重さ」単元の実践

北海道新篠津高等養護学校 坂井健太郎

1 「重さ」の単元について

小学校算数科の学習内容であり、重さの単位である「グラム」の理解が不十分な生徒がいるため、年間指導計画の中で設定されている単元である。基礎的な部分から授業を行い、「重さ」の学習への苦手感を払拭したいと考え、① デジタルはかりを用いた物の計測、② クラスルームを使った生徒同士の交流、③ 公式を利用した問題演習に取り組んだ。

2 実施した授業について

数学の時間で「重さ」単元の1時間目として、授業を行った際の記録である。

導入	<ul style="list-style-type: none">・デジタルはかりで生徒の身近なもの(筆箱、眼鏡等)を計測する前に、クラスルームの掲示板の課題「重さの予想」のコメント欄に予想を記入させた。様々な予想が出て、コメント欄で全員の予想を確認できる状態にした。・デジタルはかりにて、生徒の身近なもの(筆箱、眼鏡等)を計測し、クラスルームの掲示板の課題「重さの正解」のコメント欄に実際の結果を記入させ、予想が合っていたかどうかを確認させた。
展開	<ul style="list-style-type: none">・重さの単位について確認をした。「グラム」「キログラム」「トン」・公式として、「$1000\text{ g} = 1\text{ kg}$」「$1000\text{ kg} = 1\text{ t}$」を紹介した。・その後、①$3300\text{ g} \rightarrow ?\text{ kg}$、②$5200\text{ kg} \rightarrow ?\text{ kg}$、③$0.5\text{ kg} \rightarrow ?\text{ g}$、④$15000\text{ g} \rightarrow ?\text{ kg}$の問題に取り組んだ。
終末	<ul style="list-style-type: none">・今日の課題について、友達に語り合う時間を設けた。
次回予告	<ul style="list-style-type: none">・エレベーターの積載量に関する問題や大型トラックの積載量に関する文章問題に取り組む予定であることを伝えた。

実際に授業を行ってみて、デジタルはかりでの物の計測やクラスルームでの生徒同士の交流は盛り上がりを見せた。今後も、生徒にとって実りのある授業にしていきたい。